

～ 水筒に入れてはいけないもの ～

蒸し暑い日々が続いていますね。

そろそろ夏真っ只中になりますが、照りつける日差しにこまめな水分補給が欠かせません。暑い日だけではなく1年を通して水筒を利用する方も多いと思います。水筒（ステンレスボトル）の取り扱いについて、幾つか注意点がある様です。今月はこの話題です。

<危険？錆びる??>

金属製水筒の一部には**入れてはいけないもの**があるそうです。代表的なものを上げてみますと、

<炭酸飲料>

シュワっとした刺激で飲み口の爽やかな炭酸飲料は夏にふさわしい飲み物ですが、ステンレスボトルに入れてはいけません。

炭酸で内圧が上がり、栓が開かなくなったり、**内容物が噴き出す**ことがあります。部品が破損してふたが飛ぶなどの危険もあるので、絶対に使わないで！とのこと。

ただし、炭酸対応の『**真空断熱炭酸ボトル**』は可能です。

これは、万が一ボトル内の圧力が高まったときに作動する『安全弁』など、炭酸に対応した構造が採用されているそうです。



<カフェオレなどの乳飲料>

ステンレスボトルにコーヒーは問題ないですが、カフェオレはどうでしょうか。

牛乳を水筒（ステンレスボトル）に入れて保存すると**腐敗や変質**することがあり、その結果**ガスが発生**し内圧が上がる可能性があるため危険です。

腐敗は数日間入れっぱなしや、使用後すぐに洗えないときに起こりやすく、**使用したその日のうちに洗って**いけば**問題無い**とのこと。



乳飲料とは、カフェオレやカフェラテ、ミルクティーなど牛乳を使った飲み物のことです。

なお、**牛乳以外の乳飲料・ジュースも同様の可能性**があるとのこと。

<みそ汁やスープ、だし>

夏は冷たいスープやだしなどを持っていきたいこともあります。

みそ汁・スープ・ドレッシング・出汁・つゆ
醤油などの塩分を含んだものは、金属部分の腐敗、変質、サビを招く恐れがあるので使用しない方がいいでしょう。

ただし、スープ等を入れて使えるステンレスカップ(スープジャー)とは異なります。



<お茶の茶葉や果肉を入れる>

お茶やジュースに、茶葉や果肉が入っている場合はどうでしょうか。
お茶の茶葉や果肉は、目詰まりしてもれるおそれがあり、茶こしつきの製品などを除いては、使用しない方がいいとされています。

<アルコール類>

乳製品と同じく、発酵して内圧が上がるそうなので、危険です。

<水筒の買換え時期は？>

水筒の内部が傷付いているかどうかは外側からはなかなか分かりませんが、どういったときに買い替えるといいのでしょうか。

某メーカーの記事によると“内面がさびている” “キャップの部分が壊れてしまった” ときは買い替えをオススメしますとのこと。

本体を落としてしまうとへこんだり、傷が付いたりしますので、見た目でも分からなくても、真空断熱の部分が破損しているかもしれません。
その場合も買い替えを検討した方がよいかもしれません。

「真空断熱構造」に影響すると保温(保冷)ができなくなってしまうため、丁寧に扱うよう注意が必要です。

保温(保冷)効果が失われていないかどうかは、次の方法で調べられるそうです。

- ・水筒に熱湯を入れて、約5分後に下側面を触ってみて熱かった
→保温機能がなくなっている状態
- ・熱湯の代わりに氷水を入れて、冷たさが伝わっていたり、結露
→真空構造が失われている

その他、本体に問題はなく、パッキンの劣化やキャップの破損があった場合など、水筒は1年を目安に点検して、異常があれば部品交換をするとよいでしょう。

「売・貸物件 不足しております！」

好評につき、物件が不足中です
掲載料や面倒な手続きは必要ありません。
「ご依頼」を頂くだけで結構です。

<https://maruhiro2103.co.jp>

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、声かけ頂ければ、何でもお役に立てます！

～土地・建物のよろず屋～

マルヒロ不動産(株)

名古屋市中村区横前町109番地
TEL: 052-413-4628

